

月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

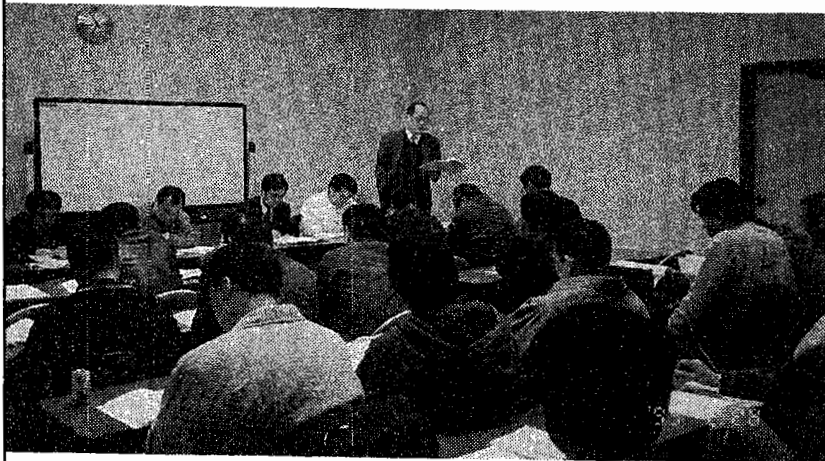
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.3.3 No. 4151

特別

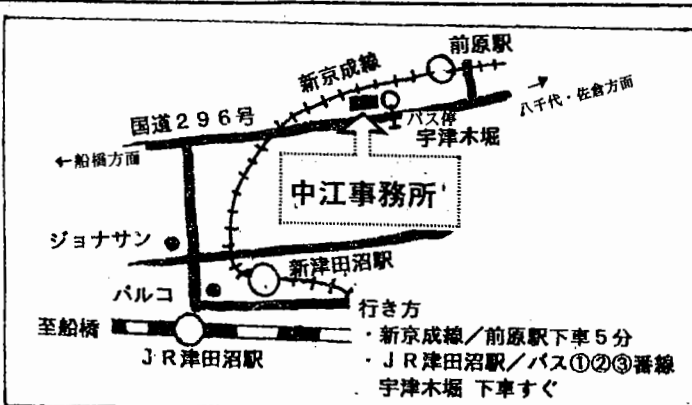
貨物協議会総会開催

団結を固めて対決するぞ!



二月二十八日、一八時より千葉市民会館において、第四回貨物協議会総会が四〇名の参加のもと開催された。
総会は田中(龍)副議長の開会のあいさつで始まった。
冒頭あいさつに起った柴崎議長は「昨年の第三回総会より正念場を迎えた貨物支部として、時短・動乗勤改悪等を許さない闘いを貨物協議会役員会を中心に一年間闘ってきました。貨物会社は、九三年度決算で分割・民営化以降初めて『赤字』決算となりました。私達は『線路を持たない会社』、列車のスケジュール本引くにも旅客会社の顔色を伺わなければならない会社が巧くいかないことを指摘してきました。そして今、分割・民営化体制そのものが破綻に直面しています。」

このような情勢の中、五月『時短・動乗勤』七月『中長期経営計画』を提案し、一二・三ダイ改において、時短・動乗勤制度改悪を強行してきました。また『六〇歳定年実施に伴う内容の一部見直しと選択しの拡大』等会社の都合の良い施策を提案し、次期ダイ改で『基地統廃合』を含め『八、〇〇〇人体制』にむけて大幅な要員合理化で乗りきろうとしています。
このような攻撃に反撃するために、より一層の団結を固め『一〇年目の見直し・JR体制の反動的再編』を見据え、清算事業団闘争勝利、全解雇者の原職奪還の闘いと結合し、対決する体制を創り上げなければなりません。本日がその意志統一の第一歩となるよう意義のある総会にしよう」と訴えた。
次に清水事務長より経過と取り組みが提起された。
続いて本部を代表して布施副委員長より情勢を含めあいさつをうけた。
質疑応答では、基地問題と要員補充問題に集中した。
その後、方針が拍手で採択され、ここ一二年の重要性を各自が確認した。
役員選出は第一回貨物協議会において決定することが承認された。
最後に柴崎議長の音頭による団結ガンバロー三唱で総会は終了した。

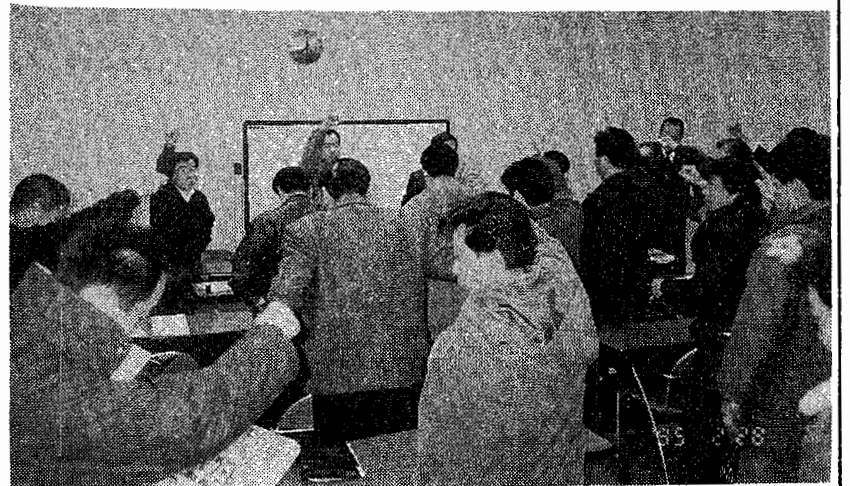


船橋市議会議員 中江昌夫 事務所
船橋市前原東 4-20-10 武内ビル1F
TEL 0474-77-7551

3月9日 ~ 3月13日

全組合員が必ず一度は行動に!

中江昌夫選対
才三次統一行動



“意志統一。やるぞ!”